

アヒル米 育てるぞ

医療NGO「AMDA」の野土路農場(新庄村)で8日、新庄保育園の園児12人が2枚の田約15畝にアヒル約100羽を放した=写真。村とAMDA、岡山商大の三者による有機農法で、秋には約2.5トンの米が収穫できる見込みだ。

アヒルは前日夕、大阪で孵化したばかり。有機農法の専門家である岸田芳朗・岡山商大教授の指導で、村の農家が耕作する。アヒルが草や虫を食べ、糞が稲の成長を促すことで、無農薬で化学肥料を使わない米づくりができるという。(中村二郎)

生まれたて100羽 新庄の田へ

